

医療法人社団 中津胃腸病院 広報誌

いちよう

No. **58**
2023.9



新院長就任のご挨拶



支えてくださった
皆さまに
感謝を込めて

病院長退任と名誉院長就任のご挨拶

「いつまでも健康でいたい、若々しくありたい」

ある程度年齢を重ね、身体の衰えをふと感じるようになると、だれでも抱くようになる感情でしょう。あるいは感傷と呼べるようなものかもしれません。

人生100年時代といわれるように、だれでも長生きできる時代になりました。女性の平均寿命は90歳に手が届きそうです。70歳で古希のお祝いをする時代ではなくなっています。そして近頃盛んに言われているのが「健康寿命」です。「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義されています。ただ長生きするだけではだめということでしょう。

巷ではアンチエイジング (antiaging) という言葉が溢れています。健康長寿を目指して生活習慣を改善したり、あるいは医療として糖尿病や高血圧、脂質異常などを治療する、さらには医学的に老化のメカニズムを研究し実践するなどが行われています。

健康だけでなく「いくつになっても若く見られたい、きれいでありたい」という美容においてもアンチエイジングはさらには氾濫しているような状態です。根拠のあるものから怪しげなものまでテレビのCMやネット上では溢れかえっています。高額にもかかわらず美容医療は繁盛し、一体どれだけのお金がつき込まれていることでしょうか。

地球上には水中に生息しているヒドラやある種のクラゲは理論上は不老不死で、条件が良ければ1万年以上生きることができるという生物もいますが、残念ながら人間を含めた多くの生物は、いくらアンチエイジングにお金をかけても老化し、やがて死を迎えます。

その昔栄華を誇った平家が滅亡して行く様を平家物語の中では「諸行無常」という言葉で表現されています。すべて形あるものはやがて壊れなくなっていってしまうことを、当時の人も理解していました。ある意味、アンチエイジングに奔走する現代人より理解していたのかもしれません。

脳の前頭葉が高度に発達した人間は、なんのために生きるのか悩みます。しかし、人間以外のすべての地球上の生物の生きる目的はただ一つです。それは「種 (しゅ) の保存」です。つまりDNAを繋いでいくこと。

個体は必ず老化し必ず死を迎えます。そのため生物は生殖という方法を備えました。生殖細胞という全くの無垢の細胞を作る能力を原始的な生物以外はすべて持っています。さらにより優秀なDNAを残し進化していく能力、有性生殖という方法を獲得しました。2つの違ったDNAを掛け合わせ、両親の半分ずつを受け次いで行くという方法です。その過程でより優秀な種の保存に有利な子孫が生まれていく可能性が出来るわけです。

人間以外の地球上の生物は、このことをのみ唯一の目的として生きているわけですが、目的が多くなってしまって、さらに今の日本のように、子育てすらむつかしい世の中に変えてしまった人間に未来はあるのでしょうか。必死で種を繋いでいるほかの生物より一番早くいなくなってしまうのではないのでしょうか。

中津胃腸病院は昭和55年（1980年）に設立されました。中津では新しい病院の部類ですが、もう43年を迎えます。中津地域に良質の消化器を中心とした医療を提供することを目的に設立しましたが、43年経ちその役割はかなり拡大しています。消化器病にとどまらず、血液内科、糖尿病・甲状腺内科、地域包括ケア、緩和ケア、救急、訪問診療・訪問看護等々、県北地区の地域包括ケアシステム（高齢者の尊厳の保持と自立支援のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるようにする、地域の包括的な支援・サービス体制）の一翼を担っています。最近では新型コロナの対応も積極的に行いました。また、22人で始まった病院は今では従業員は200人を超え、中津ではかなり多い雇用も提供しています。今後も求められることはさらに大きくなっていくでしょう。

冒頭に申し述べましたように、人間は生きる目的が多すぎて、一番大事なこと「種の保存」がないがしろになっています。核戦争でも始まれば滅亡です。

中津胃腸病院の生きる目的はシンプルに「良質な医療の提供・雇用の確保で地域に貢献すること」です。それを実現しさらに10年20年と発展させて行くためには、種たる病院本体の経営の安定と次の世代へ進化したDNAを繋いでいくことが何より重要と考えています。

私は2009年に6代目の院長として就任し、もう14年になりました。歴代最長になっています。現代の医療は恐ろしく進化し、取り巻く環境も目覚ましく変わっています。病院のトップもその時代にあった最適の人材（DNA）に受け継がれていく必要があります。

この度、40代と若く働き盛りで外科医としての脂も乗り切り、しかも斬新なアイデアと、経営企画に優れた藍澤哲也先生に7代目院長として無事バトンタッチすることになりました。私は理事長・名誉院長という立場から、今までと変わらず胃腸病院の発展のためには努力を惜しまず、藍澤先生をしっかりサポートしてまいります。

中津胃腸病院はこれからも地域医療に邁進していく所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

中津胃腸病院 理事長・名誉院長
深野昌宏





名誉院長・新院長とともに
私たちも中津胃腸病院を支えます

新院長就任のご挨拶

この度、去る7月1日に、深野 昌宏前院長より院長という大役を拝命致しました、藍澤 哲也です。謹んでご挨拶申し上げますと同時にその重責に身の引き締まる思いであります。私は今まで、大分県内の10カ所以上の病院を中心に勤務し、2020年4月1日に当院へ救急科部長として赴任し、病院の一員として中津市の地域医療に従事し、その発展に尽力して参りました。今後はその舵取り役として、患者さまのご期待に添えるよう邁進していく所存でございます。

当院は、昭和55年4月の病院開設以来、中津市をはじめとする県北地域はもとより大分県全域や北九州地域まで、幅広い患者さまに受診いただいております。消化器疾患をはじめ、循環器、呼吸器、一般内科、外傷疾患など広範囲に診療を行っております。当院の基本理念である、「安心して、気持ちよくかかれる病院」を実践すべく、診断から治療まで迅速に一貫性を持って行う事を心がけております。

現在医療を取り巻く状況は日進月歩で目まぐるしく変化しており、常に知識をアップデートしていく必要があります。我々は日々の勉学にも励んでおります。

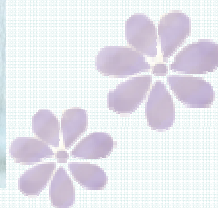
近年は新たに救急外来も刷新され、救急患者さまの受け入れの垣根を低くし、皆さまが気持ちよくかかれることを実践しております。関係する地域消防との密な連携を行う事により、必要としている患者さまに遅滞なく適切な医療を提供できるように精進しております。また「おしり外来」を立ち上げ、「県北地域のお尻は我々が守ります」をモットーに診療を行っており、当院が周辺地域のリーディングホスピタルとなってきたと自負しております。「お尻」に関してお困りの方は気兼ねなくご相談いただけましたら幸いです。

今後とも、患者さまに寄り添った誠実な医療、安全な医療、最先端の医療を提供できるように、当院職員一同、精一杯努力して参りたいと存じます。

引き続きご指導ご支援の程、宜しく願い申し上げます、私のご挨拶とさせていただきます。



中津胃腸病院 院長
藍澤 哲也



2023年3ヶ月フォローアップ研修

7月25日に今年度入職した新入職員へフォローアップ研修としてグループワークを行いました。各部署より23名参加し、グループごとに『期待と不安』というテーマで意見交換を行いました。

久しぶりに会った同期同士、和気あいあいとした雰囲気でありながらも積極的に意見交換ができていました。最後は、院長や副院長、各部署の部署長をお呼びし、各グループの発表を聞いていただきました。

仕事での不安や悩みを分かち合ったり、自分の理想像に近づくためには何が必要かなど、各々考えることができ有意義な時間を過ごしました。



同期の安心
感がいいね!



4つの
グループに分かれて
意見交換





同期の意見を
集約し見やすく
まとめます。



緊張して声が震える



グループごとの意見を
聞いて、いろんな考え
方に気づきました。



皆さん
お疲れさまでした!





診療時間

平日

午前 9:00～12:00
8:30～11:30 (診療受付)
午後 14:00～17:30
13:30～17:00 (診療受付)

土曜日

午前 9:00～12:00
8:30～11:30 (診療受付)

休診日

土曜日午後/日曜/祝日
(但し、急患はこの限りではありません)

診療科目

外科 消化器外科 内科 消化器内科
肛門外科 リハビリテーション科
疼痛緩和内科 麻酔科



医療法人社団

中津胃腸病院

〒871-0162

大分県中津市大字永添510番地

TEL 0979-24-1632(代表)

FAX 0979-22-9800

ホームページ: <http://n-icho.or.jp>

患者さまの義務

- 患者さまは、協力的・積極的に診療に参加してください。
- 患者さまは、自分自身の健康に関する情報を正直かつ正確に伝える必要があります。
- 他の患者さまの治療や、職員の医療行為の妨げにならないように病院の規則や指示を守る必要があります。
- 医療費は、遅滞なくお支払いください。

患者さまの権利

- 患者さまは、何ら差別することなく、どなたでも平等に医療を受けることができます。
- 患者さまは、必要なときに援助・助力を求め、最善の医療を受けることができます。
- 患者さまは、医療機関を自由に選択し、複数の医師の意見(セカンドオピニオン)を求めることができます。
- 患者さまは、検査や治療の目的・方法・内容・危険性について、十分に理解できるまで説明を受けることができます。
- 患者さまは、自分自身の診療に関する情報の提供を受けることができます。
- 患者さまは、十分な説明や助言・協力を得たうえで、あなたの意思に基づいて医療行為を受け、あるいは拒否することができます。
- 患者さまはプライバシーに関する権利を有し、医療に関する個人情報保護されます。

中津胃腸病院の公式LINEのご案内です。

お友達登録していただくと、LINEから簡単に診療予約することができます。また、当院の求人情報や、働く職員の様子が見えるInstagram、当院のホームページなどチェックすることが可能となりました。これによって、急な診療予約などをよりスムーズに行うことができるため、電話をして予約する必要がなくなりました。

右のQRコードをカメラで読み取っていただければ、友達追加が可能なページに移行できます。



中津胃腸病院

×

LINE@



LINE



Instagram



Home page

